

磐田市立豊岡北小学校



出前授業レポート

静岡県埋蔵文化財センター

令和7年7月1日(火)

磐田市立豊岡北小学校の児童が、昔の人々の暮らしを体験することを目的に、

土器の分類体験 石器の試し切り体験 火起こし体験を行いました。



土器の分類体験

縄文土器、弥生土器、須恵器の3種類の土器片を完形土器と見比べて分類する体験をしました。

<児童の感想>

本物の土器に触れたことがとても嬉しかったです。その時代に使用していた土器の厚さや大きさ、模様などを教えてもらった後、実際に分類体験を行ってみて、意外に難しかったです。でも、グループの友達と協力しながら分類職人を行い、正確に分類ができたことが嬉しかったです。



石器の試し切り体験



黒曜石製の石器で紙や野菜を切る体験をしました。

<児童の感想>

小さな道具で簡単に野菜を切ることができ、驚きました。また、昔の人たちは道具を工夫しながら使い、生活していたことが今まで以上によく分かりました。



火起こし体験



舞錐(まいぎり)法という方法で、火起こし体験をしました。

<児童の感想>

説明のとき、時代から時代へと分かりやすく火の起こし方を教えてくださりとても勉強になりました。昔の人たちは、よく考えて火を起こしていることや、火を起こすまでに時間がかかり、大変な生活を送っていたんだなと感じました。火起こし体験を行ったのが2回目でしたが、今回初めて火をつけることができたことも嬉しかったです。



<先生方の感想>

職員の方から非常に細かな説明をしていただきました。火起こし体験では、子供たちも縄文時代の人になりきって活動に取り組みました。土器の分類体験は将来自分が研究者になったつもりで行い、キャリア教育に繋がりました。

